

おとなも子どもも、
こんな学校に
行きたかった！



監督：オオタ ヴィン

「いただきます」シリーズ

ナレーション
吉岡秀隆

エンディングテーマ
ザ・ブルーハーツ

夢みる小学校

「自分のままでいいんだよ」

ありのままの自分でいられる、子どもファーストな学校とは？

わくわくがとまらない 希望あふれる”ミライの教育ドキュメンタリー”

出演：堀 真一郎、茂木 健一郎、尾木 直樹、辻 信一、高橋 源一郎 ほか

文部科学省選定

家庭向き 令和3年12月20日

7月23日(日) 13時～上映開始 場所:豊見城市立中央公民館

詳しくは裏面をご覧ください。

後援：豊見城市教育委員会



「学校」はこんなに楽しい場所でした。

激動のAI時代に対応するため、2020年度から学習指導要領が、「アクティブラーニング(探求学習)」に大きく舵を切り、日本の公教育が揺れています。30年前から「体験学習」を実践している先進的な学校があります。宿題がない、テストがない、「先生」がない、「きのくに子どもの村学園」です。この学校のスローガンは、「まず子どもをしあわせにしよう。すべてはそのあとに続く」。60年以上成績通知表がない「総合学習」を続ける伊那市立伊那小学校。校則ゼロ、定期テストをやめた、世田谷区立桜丘中学校の西郷孝彦前校長。本作には、子どもファーストな3つの学校が登場します。

ナレーションは、ドラマ「北の国から」の名優 吉岡秀隆。エンディングテーマは、ザ・ブルーハーツの「夢」。全国1000箇所では上映された映画「いただきます」オオタヴィン監督が「教育」をテーマにエモーショナルな映像で描きます。わくわくするシーンの連続、童心に帰ったような初々しい感動。「ミライの教育」を探る 感涙のドキュメンタリーです。

予告編見てね!



小学生が
作ったよ!



ナレーション
吉岡秀隆



エンディングテーマ
ザ・ブルーハーツ



映画出演者コメント

子どもも楽しい、
教師も楽しい。
体験学習を楽しみながら「考えるチカラ」が身につくのです。

体験学習は、前頭葉を発達させ、非認知能力を高め、しなやかな脳のネットワークを作ります。

この映画は、「教育の本質」をみせてくれます。「子どもファーストの学校」の姿を、みてください。

意味のない校則は子どもの考える力を奪うので無くしました。公立学校も、実は、かなり自由なんだよね。



堀 真一郎

(きのくに子どもの村学園学長)



茂木 健一郎

(脳科学者)



尾木 直樹

(教育評論家)



西郷 孝彦

(世田谷区立桜丘中学校 元校長)

あなたの町でも
「夢みる小学校」を上映
しませんか?
お申し込みは、
まほろばスタジオ▶



みんなで「ミライの教育」について語りませんか♡

「夢みる小学校」上映会&お話し 7月23日(日)@豊見城市立中央公民館

主催者からのメッセージ

不登校や学校行き渋りの子どもたちは増えるばかりです。地域のみなさんと、学校の先生たちが一緒に、映画を観ながら気楽にお話しできる良い機会です。もっと、公教育にも「わくわくと多様性」が欲しいな、と思います。みなさんの参加を心よりお待ちしております~

- 上映日: 7月23日(日)
- 上映会場: 豊見城市立中央公民館
住所: 豊見城市字平良467-1
- 映画上映時間: 13:00~14:30 (90分)
監督メッセージ: 14:30~14:45 (15分)
- お話し: 14:55~

途中退室自由です、
お茶をご用意しています♡

- 会費: 無料
お子様連れの参加も大歓迎です。映画のみの参加でも大丈夫です。
- 主催: 「夢みる小学校」おきなわ上映実行委員会
- お申し込み: QRコードを読み取り、フォームからお申し込みできます▶

お問合せ・お申込み▼
070-5277-0229
yumemiru.school.okinawa@gmail.com

